



愛媛県南予地域観光振興イベント

えひめ町並博

2004

十町十色 南予の町の物語。

「えひめ町並博2004」は、平成16年4月29日から10月31日までの半年間にわたり、「十町十色。南予の町の物語。」をキャッチフレーズに、懐かしい古い町並みや豊かな自然を有する南予地域を舞台に、「パビリオンのない博覧会」として、多彩な催しを繰り広げました。お陰をもちまして、期間中170万人を超える多くの方々に御参加をいただき、盛況裡に閉幕いたしました。

開催にあたって

「町並博」の開催にあたっては、地元住民の将来に向けたヴィジョンや夢を最大限反映し、また実際に事業に参画し、一体となって計画づくりから実現化までを進めていける方法「観光まちづくりの体系化」を確立することが求められます。さらに近年の観光動向にも顕著な「体験重視の観光」「時間消費の観光」「テーマ追及の観光」「小グループ観光」「地元の人・暮らしとふれあい」など、来訪者の新たな価値観に対応する魅力的なプログラムの開発も望まれます。それらを踏まえ、2004年以降も引き続き来訪者の期待に応えるためにも、一過性のイベントにとどまらず、地元住民の主体的参画を可能な限り誘導し、持続可能な「観光まちづくり」の事業を展開していくことが重要と考えます。

開催の意義

豊かな自然と歴史、文化を今に伝える南予地域。高速道路の宇和延伸に伴う、南予地域への交流人口のさらなる増加を促すべく、この機を「南予観光元年」と捉え、この地域の歴史、文化のシンボルである「町並」を中心とした地域の魅力を全国に発信することにより、南予地域の更なる発展と観光まちづくりの推進、新たな交流の契機とするため、『えひめ町並博2004』を開催します。

開催の理念

「町並」を単に歴史的建造物郡として捉えるのではなく、「町並」を主題に、そこでの「暮らし」、そこに培われた「物語」、さらにそれらを包み込む「景観」を素材に、そこに暮らす人々と新たな価値を創造し、未来の歴史を創り上げることを「町並博」開催にあたっての理念とします。

はじめに

開催概要

事業名	愛媛県南予地域観光振興イベント
正式名称	えひめ町並博2004
愛称（略称）	町並博
テーマ	南予観光新時代 ― 交響する人、道、暮らし ―
キャッチフレーズ	十町十色（とまちという）。南予の町の物語。
開催場所	大洲・内子・宇和を中心に宇和島市や八幡浜市など南予一円
開催期間	2004年4月29日（木）～2004年10月31日（日）186日間
開催方式	地域の資源や地元の住民、団体の活動を基盤とした、“まちづくり型観光博覧会”
開催目的	「南予」観光ブランドプロモーション
主催	愛媛県町並博2004実行委員会

イベントの組み立て

式典イベント

開会・閉会など、「町並博」の節目イベント。

コアイベント

大洲（おおず）・内子（うちこ）・宇和（うわ）を中心に開催する大型イベント。それぞれの「町並」がテーマ性を持ったイベントを構成しています。

広域テーマイベント

広く南予全域で開催される、テーマを持った“旅”のイベントや事業。お気に入りのテーマを選んで旅の計画を立てたり、季節折々に展開されるプログラムに参加してください。

地域企画イベント

南予地域の市町村の実行委員会が実施するイベント。
それぞれの資源を活かした企画で南予全体の観光振興を目指します。

自主企画イベント

南予地域に暮らす人々が主体となって実施するイベント。
ユニークな企画や新しい事業で、将来につながる“観光まちづくり”を目指します。

シンボルマーク・キャッチフレーズ

シンボル



愛媛県南予地域観光振興イベント

としま町並博
2004

それぞれの町がそれぞれに個性ある花(町)を咲かせる

このシンボルマークは、南予地域という広いエリアで様々に展開されるイベントのイメージを伝えています。町並博の理念、また南予の風土、歴史、文化の視点に立ち、そのイメージは「和」、そのカタチは単純な「花」に決めました。

花は町の景色、人の姿や顔、人の技、人の暮らし、食の彩、豊かな暮らしなどをイメージします。花の中の3本の螺旋は町の暮らし、町の物語、町の景色を意味します。

と まち と いろ
十町十色。
南予の町の物語。

町並の数だけそれぞれの町物語があります。そんなメッセージを「十町十色」というフレーズに決めました。それぞれの「色」～人・暮らし・自然・歴史～を持った南予の町々が、その「町並」を舞台に、それぞれの町の魅力―「物語」を披露するという、町並博の主旨をわかりやすく伝えるものです。

いやしの山幸、海幸。

複雑な入り江を抱く宇和海、南予アルプスと呼ばれる鬼ヶ城山系、清流四万十川の源流となる清流と渓谷、そして訪れた人をあたたかくもてなすお遍路文化。日本の宝とも言える魅力が南予にはあふれています。平成24年春から秋、宇和島圏域全域を会場に、「うみ」「かわ」「もり」「ひと」の魅力に出会い、癒され、心身ともに元気になれるイベント「えひめ南予いやし博2012」を、地元で暮らす人々と一緒に開催いたしました。



はじめに

開催にあたって

「いやし博」の舞台となる宇和島圏域は、複雑な入り江を抱き、色鮮やかな珊瑚や熱帯魚、美しい真珠などの恵みを育む宇和海や、清流四万十川の源流として、渓谷や緩急の流れが自然のまま残る広見川、南予アルプスと呼ばれる鬼ヶ城山系の四季の彩りと澄んだ空気に包まれた森林、伊達十萬石の城下町として築きあげられてきた多様な歴史・文化など、魅力ある観光資源にあふれており、そこにはこれらの貴重な財産を脈々と受け継ぎながら、生き生きと心豊かに暮らしてきた人々の営みがあります。地域の皆様とともに、宇和島圏域ならではの観光資源に更に磨きをかけ、観光客の皆様はその魅力を思う存分、堪能していただきたいと思っています。

開催の意義

高速道路の宇和島延伸を契機として、地域の魅力を再構築し広くアピールするとともに、住民主体の観光まちづくりの取組みを持続的に進めることにより、宇和島圏域はもとより南予全域の観光振興と地域の活性化を図る。

目的及び達成指標

- (1) 目的・・・宇和島圏域及び南予地域の観光振興
 - ・宇和島圏域を中心とした観光客の増加
 - ・魅力的な観光プログラムの創出と滞在型観光のための基盤整備
- (2) 達成目標・・・宇和島圏域内への観光客数：年間320万人、対21年比50万人増

開催概要

開催概要

正式名称	えひめ南予いやし博2012
テーマ	うみ・かわ・もり・ひと、楽園めぐり
開催場所	宇和島圏域（宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町）
開催期間	2012年4月22日（日）～2012年11月4日（日）
開催方式	地域資源を活用したイベントを連続的に開催する広域連携観光プロモーション
主催	愛媛県宇和島圏域観光振興イベント実行委員会

イベント展開

イベント

イベント展開に当たっては、地元市町や住民グループと一体となって推進した結果、県実行委員会が実施したセレモニーイベントやコアイベントが60プログラム、市町等が実施した地域企画イベントが83プログラム、住民グループが実施した自主企画イベントが34プログラムと、全体で177のイベントを実施し、これらのイベントへの参加者は、延べ77万人を超えた。

(1) セレモニーイベント

イベント名	実施時期	実施場所	内容	参加者数 (人)
オープニングイベント「開幕！えひめ南予いやし博 いよ伊予なんよ！きてみ祭」	4月22日（日）	宇和島市 きさいやロード きさいや広場	出陣式 開幕式典 ・ステージ（地元伝統芸能） ・トワ・エ・モワ コンサート ・フォークジャンボリー ・花火ショー	5,849

クロージングイベント「観光まちづくりシンポジウム」	11月4日（日）	愛南町御荘文化センター	<ul style="list-style-type: none"> ・住民Gプレゼンテーション ・パネルディスカッション ・レセプション等 ※12/8新聞広告により内容を県全域に波及	400
（参考）プレイイベント「宇和島北－西予宇和」開通記念イベント	3月4日（土）	四国横断自動車道「宇和島北－西予宇和」道の駅「みま」	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングイベント（20km、30kmコース） ・ウォーキングイベント（2.8kmの往復） ・ゆるきゃら撮影会 ・物産市 等 	8,500
（参考）プレイイベント宇和島・小江戸フェスティバル	3月24日（土）～ 3月25日（日）	南予文化会館 天赦園 等	<ul style="list-style-type: none"> ・市川亀治郎による歌舞伎舞踊とトークショー ・お練り（宇和島商店街） ・天赦園歌舞伎舞踊公演 等 	7,950

(2) コアイベント・記念イベント

イベント名	実施時期	実施場所	内容	参加者数 (人)
宇和島コアイベント「伊達なまち歩き」	4月29日（日） ～ 10月28日（日）	宇和島市 天赦公園 きさいやロード 道の駅「みま」 等	<ul style="list-style-type: none"> ・伊達ワールド（天赦公園） ・まち歩きスタンプラリー ・宇和島きさいやウォーク ・伊達博物館特別展（春・秋） ・伊達博物館基調講演 ・なつかしのキャラクターおもちゃ博（鑑定大会含む） ・アニソン大会 ・棟方志功展 ・天赦園（伊達修行）、宇和島城 ・いやし寄席 on JR予土線等 	141,566
鬼北・松野コアイベント「森の四万十自然学校」	4月29日（日） ～ 11月3日（土）	鬼北町・松野町 成川溪谷 滑床溪谷 虹の森公園 等	<ul style="list-style-type: none"> ・開校式（前夜祭含む） ・ウォーキングイベント ・ラジオシンポジウム ・溪谷釣り大会 ・クイズショウザ・INAZO ・大人の修学旅行 ・こども冒険学校 ・ぽっぽ音楽祭 ・卒業式 等 ※ラジオ番組とタイアップ 	6,757

愛南コアイベント「まるごと海のミュージアム」	4月29日（日） ～ 10月28日（日）	愛南町 道の駅みしょう MIC 鹿島 須ノ川公園 等	・あいなんGo-MIX ・うみんほっ開き ・まるゴチ！海のグルメツアー ・シーウォーカー ・海のレジャー体験 等	28,904
記念イベント「愛南町いやしの郷トライアスロン大会」	6月9日（土）	愛南町	・トライアスロン大会（スイム1.5km、バイク40km、ラン10km）	2,212 （競技者196人）
記念イベント 第15回全国闘牛サミットin宇和島「全国闘牛大会」	7月24日（火）	宇和島市営闘牛場	・全国闘牛大会（県外6頭を含む22頭による対戦）	1,570
記念イベント「森と水と四万十源流コンサート」	9月1日（土）	鬼北総合公園体育館	出演者 ・加藤登紀子 ・ライオノート（愛媛県出身） ・千桃生そら（愛媛県出身）	1,200
記念イベント 南予食の祭典「全国丼サミットうわじま2012」	10月27日（土） ～ 10月28日（日）	宇和島市きさいやロード	全国丼サミット ・12県20団体がご当地丼出店 南予食の祭典 ・南予の22団体が出店 産直市	47,000

（3）自主企画イベント

自主企画イベントについては、34のプログラムを認定した。
期間中約5万人が参加した。

（4）地域企画イベント

地元市町等が観光振興を目的に企画、実施する地域企画イベントについては、「宇和島牛鬼まつり」や「愛南びやびや祭り」、「でちこんか」などの既存イベントに加え、「森の国戦国武者伝走大会」など新規イベントや事業を実施し、期間中46万人余りが参加した。

開催効果

(1) イベントへの参加者数

開催期間中に実施した177イベントへの参加者総数：774千人

(2) 宇和島圏域の主要12観光施設への入り込み客数

開催期間中（24年4月～11月）の入り込み客数は2,075千人
入り込み客数の対前年同期（1,760千人）の増加率：17.9%増加
（伊達博物館169.4%増加、道の駅「みま」109.9%増加など）
※達成目標である平成24年の宇和島圏域の観光客数320万人（対21年50万人増）
については、321万3,000人で達成。

(3) 持続可能な仕組みづくり

観光まちづくりを担う自主企画グループの形成：34グループ

(4) 住民の参加

1,496人がボランティア登録を行い、延べ2,207人が観光案内やイベントのサポート、公式記録員、ステージ出演などを中心に活躍。



えひめ
いやしの南予博
2016

さとに憩い、ひとに和む。

えひめ南予の、いやし旅。

愛媛県の西南部に位置する「南予」地域を舞台に、平成28年3月26日から11月20日までの約8カ月にわたり、「さとに憩い、ひとに和む。えひめ南予の、いやし旅。」をキャッチフレーズに掲げ、「えひめいやしの南予博2016」を開催いたしました。

多彩な魅力が詰まった南予において、市町や地域の皆さんと協力しながら、「いやし」をテーマに319のイベントを実施した結果、延べ202万人もの参加を得るなど、県内外の多くの方々に南予のすばらしさを体感していただきました。また、住民の皆さんによる117の自主企画プログラムの中には、旅行商品として定着したものもあるなど、実りある活動が展開されたほか、南予博をきっかけに、地域おこしの中核を担う多くの人材が生まれましたことは、「道後」「しまなみ」に続く「南予」の観光ブランド化につながる何よりも大きな収穫であったと考えております。

開催にあたって

美しいリアス式海岸が続く宇和海、牧歌的な雰囲気醸し出す四国カルスト、清流に潤う肱川や四万十川の流域、耕して天に至る段々畑、懐かしい町並みや趣のある城下町、祭りや民俗芸能など、愛媛県の西南部に位置する南予（なんよ）は豊かな自然と歴史文化にあふれ、訪れる人々が“いやし”を感じられる地域です。

この南予地域を舞台に、3月26日から11月20日にかけて、「さとに憩い、ひとに和む。えひめ南予の、いやし旅。」をキャッチフレーズとした、ロングランイベント「えひめいやしの南予博2016（にいまるいちろく）」（略称「南予博」）を開催いたします。

南予博では、期間中、「食・食文化」を軸に、「サイクリング」「アウトドア」「伝統文化」「町歩き」といった、南予の多彩な魅力を体現した250を超える催しを展開し、交流人口の拡大や、「道後」「しまなみ」に続く南予ブランドの確立につなげることを目指しております。

はじめに

開催の意義

南予地域においては、少子化や若年世代の流出により近い将来に急激な人口減少が予測されており、地域の持続的な活性化を図るためには、町並博・いやし博で発掘・育成された地域資源を、観光ビジネスとして着実に実需につなげるとともに、南予の豊かな「自然」や「歴史文化」に加え、観光の新たな潮流である「食へのこだわり」や「サイクリング」を南予観光の新たな柱として育成していく必要があります。

目的及び達成指標

こうした状況を踏まえ、南予博では、地域や分野を超えた幅広い連携を進め、

- ・「町並博」から続く住民主体の観光まちづくりの取組みの継続と定着
- ・南予の共通性や多様性を活かした周遊の仕組みづくり
- ・実需の創出（旅行商品の造成や観光と食・物産のタイアップ等）
- ・観光・産業・生活が一体となった南予のイメージ形成・発信

に取り組むことにより、南予のブランド化を図り、交流人口と実需の拡大、さらには、「移住・定住の促進」につなげていくこととしました。

開催概要

開催概要

正式名称	えひめいやしの南予博2016
略称	南予博
キャッチフレーズ	さとに憩い、ひとに和む。えひめ南予の、いやし旅。
開催場所	愛媛県南予地域ほか（宇和島市、八幡浜市、大洲市、伊予市、西予市、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町）
開催期間	平成28年3月26日（土）～11月20日（日）
主催	えひめいやしの南予博2016実行委員会

イベント展開

イベント

イベント分類	主催	イベント数（件）
(1) 広域コアイベント	県実行委員会主催	33
(2) 地域コアイベント	市町実行委員会等主催	19
(3) 地域企画イベント	市町主催	150
(4) 自主企画イベント	住民グループ等主催	117
合計		319

(1) 広域コアイベント例

イベント名	実施時期	実施場所
オープニングイベント	3月26日	八幡浜市・伊方町
ツール・ド・なんよ8days	4月・5月の土日、8日間	開催10市町
南予プレミアムダイニング	4月23日～11月19日	開催10市町
民俗芸能サミット「卯之町ブロードウェイ」	5月28日～29日	西予市
南予ぐるっと旬グルメ [春(プレ)・夏・秋]	-	開催10市町
南予冒険島	8月7日	宇和島市
ミュージック&キャンプフェスin南予	8月20日～21日	伊方町
油井亀美也宇宙飛行士ミッション報告会	8月20日～21日	八幡浜市

海の産業教室inえひめ	8月28日	宇和海沿岸
なんよ手しごとマルシェ	9月11日	宇和島市
南予太鼓フェスティバル	9月19日	宇和島市
南予収穫祭 サローネ・デル・ナンヨ	10月7日～9日	大洲市
南予バーベキュー選手権	11月6日	松野町
愛育フィッシュ 我が家のオリジナル鍋選手権	11月13日	愛南町
グルメ南予サイクリング	11月13日	開催10市町
クロージングイベント	11月20日	宇和島市
サポートイベント例：南予わくわくフェスタ	4月23日	いよてつ高島屋
サポートイベント例：まるごと南予体験博	4月26日～5月5日	松山三越

(2) 地域コアイベント例

イベント名	実施時期	実施場所
伊達秀宗公入部伊達五十七騎大武者行列	3月27日	宇和島市
八幡浜港町めぐり	6月5日、6月25日～11月20日	八幡浜市
おおず歴史華回廊	4月29日～11月13日	大洲市
愛媛西予 SEA TO SUMMIT	9月24日～25日	西予市
内子時代祭	4月22日～11月20日	内子町
佐田岬プレミアム100	5月1日	伊方町

第7回全国源流サミットin松野町	7月29日～31日	松野町
でちこんか2016	10月8日～9日	鬼北町
海人キャンプin愛南	7月30日～31日	愛南町

(3) 地域企画イベント例

イベント名	実施時期	実施場所
九島大橋開通記念プレイベント	4月2日	宇和島市
サイクリング佐田岬2016	9月25日	八幡浜市

(4) 自主企画イベント（南予いやし体験プログラム）例

イベント名	実施時期	実施場所
八幡浜ZAKO48総選挙	11月19日	八幡浜市
奥伊予川津南で穴神洞穴遺跡探検と石窯ピザづくり	通年	西予市
アワビと出逢う四国最西端クルージング	4～10月の土日祝日	伊方町
プレイベント例：ORANGEライトアップ南予	11月2日～2月14日	開催10市町
プレイベント例：南予マルシェ	3月11日～13日	エミフルMASAKI

開催効果

イベント参加者数：イベント区分別件数および参加者数

イベント分類	イベント数 (件)	参加者数 (人)		増加実績 (人) (a)-(b)
		平成28年(a)	平成27年(b)	
(1) 広域コアイベント・サポートイベント (県実行委員会主催イベント)	33	484,340	-	+484,340
(2) 地域コアイベント (市町実行委員会等主催イベント)	19	128,103	35,000	+93,103
(3) 地域企画イベント (市町等主催イベント)	150	1,207,643	1,015,312	+192,331
(4) 南予いやし体験プログラム (自主企画プログラム)	117	203,194	20,310	+182,884
合計	319	2,023,280	1,070,622	+952,658

経済波及効果：

県内経済への波及効果	89億2,715万円
直接効果	60億1,769万円
一次波及効果	18億1,196万円
二次波及効果	10億9,750万円

- ・ 直接効果 主催者事業費及び参加者消費額（県外から調達されるものを除く）
- ・ 一次波及効果 直接効果によって県内産業にもたらされる生産誘発効果の金額
- ・ 二次波及効果 直接効果及び一次波及効果による雇用者所得の増加が、新たな消費に向けられることによって県内産業にもたらされる生産誘発効果の金額